

甲斐市議会報告

第52号 2023年1月30日発行
日本共産党甲斐市議団長 松井 豊
甲斐市牛久2305
電話055-1277-2437



第4回定例会は12月9日から20日までの12日間開催され、補正予算および条例の制定など40議案を審議しました。5会派の代表質問と5人の一般質問が行われました。

代表質問

松井 豊 議員



バイオマス発電と市北部の振興について

CO2排出削減のためにも、地元木材の活用が必要。森林組合は小規模なので組合への支援も求められる。市の支援策はあるのか。

市長11年間8万tの木材のうち約7割の5万5千tを県内(近隣含む)で調達予定。市独自の支援予定はないが、県の助成制度(間代材・端材運搬に1立米千5百円補助)が活用できる。

木材チップ燃焼による発電効率は25%で、石油等のエネルギー交換率40%を超えなければ、CO2削減(カーボンニュートラル)にならない。70%の熱水の利用について、業者丸なげではなく、施策としての熱水利用計画について伺う。

市長11発電所から取り出せる熱エネルギーの量や方法について発電事業者と協議・調整して技術的な確認を行っている。県のバイオマス発電等計画では、電気+熱利用で75%まで可能としている。

一級河川・亀沢川について、河川内の雑木等の刈裁・撤去の声がある。また、市の地域防災計画での水害対応はどうか。

市長11地元自治会の要望は随時県へ要望し実施している。水害対応では、大雨時に臨時巡視しており、一部箇所では防災WEBカメラで監視している。部長11県実施の雑木の伐採・撤去では、R元年度3ヶ所、R2年度1ヶ所、R3年度2ヶ所を実施している。

部長11一の堰(市管理)の除草については、堰の維持管理が適切に行えるよう、除草など必要な対応を行っていく。

茅ヶ岳東部広域農道の開通見通しはどうか。また開通後の市の施策について伺う。

市長11R4年3月末時点での整備進捗率は約94%で、吉沢地内で橋梁関係工事が進められている。地権者との用地交渉に本市も本格的に携わっており、1名との売買契約が締結され、残りの地権者との交渉も進め、R8年

度中の全線開通を目指している。

この道路の開通により、市北部地域はこれまで以上の利便性や魅力向上が期待できるエリアになる。農業・観光を融合させた新たな産業振興策などを総合的に検討していく。

- 御領の棚田への助成と展望
- 梅の里の今後ークラインガルテン拡充、ソバ畑、梅の品種改良、高木の刈裁など
- 市北部の産業・文化(日本遺産等)・観光面での総合計画

コロナ禍での市民支援の拡充を

コロナ禍での小規模・零細工業者の支援はどうなっているのか。地方創成臨時交付金(県内市町22億円)の活用を含め、市独自の施策はあるのか伺う。

市長11安心甲斐市民支援事業の一環として、R2年度から国や県が行う各種給付金事業の上乗せ支援をはじめ、旅行者、宿泊業者、貸切バス及び運転代行業者への給付金支給、並びに融資に対する信用補償料の補助など市独自の様々な支援の実施とともに、3回の商品券事業を行ってきた。

部長11合計で計3億3250万円を、国・県の給付金などに上乗せ支援してきた。

来年(R5年度)10月から政府が予定している「インボイス制度」は1千万人が影響を受け、企業の1割が取引き停止になるおそれがあるだけでなく、すでにその旨(発注拒否・入札排除等)の通達がされている自治体もある。市の考えと方針を伺う。

市長11この件については10月7日総務省から「入札資格を定めることは適当ではない」との考えが自治体に示されている。本市としても「競争入札への参加の公平性を確保するためには、適格請求書発行者ではない者を競争入札への参加させない」とは適当ではないと考え、入札参加資格の要件を定める考えはない。

インボイスによって少なく見積っても1人15万円の増税となる。7月末で423自治体から要請が上がっており、中止すべき。

市社協の食料支援は、該当者のニーズに対して極めて弱い、規模の拡大・強化と市の支援について伺う。

市長11小5〜中3までの学習支援における食事提供、夏・冬休みの食料支援、子ども食堂などを行っている。食料の確保には今後も努力していく。

部長11食料支援の量は、R2年3167K、R3年1878K、R4年529Kでした。減少傾向は明らか、真剣な対応を望む。

市民温泉の再開を

市民温泉が再開(6/30〜R5.3月)されたが選定業者が選定基準を満たさなかったとして指定しなかったが、再開では9社で2千万円増となった。その判断は正しかったのか。

市長11選定については、有職者で構成する「指定管理者選定評価委員会」で選定要領に基づく審査基準により、公正に評価された結果を受け契約を行わなかったもので、判断は適正であったと考えている。

「甲斐市民温泉施設業務運営検討委員会」の検討状況はどうか。送迎などの利用者増の方策はどうか。また、再開への市の考え、3施設の一部廃止(統廃合)のうわさについても伺う。市長11今回の諮問に対する答申は、過日いただいたばかりです。今後、その内容をふまえて、次年度以降の温泉施設の運営に関する方針を決定していく。

部長11市民温泉の集約化については、答申を踏まえて方針を決定していく。利用者増加策については、昨年の市民アンケートを参考に、運営方針と併せて検討していく。



令和4年第4回定例会

一般質問

谷口 和男 議員



気候危機に際し、脱炭素社会の推進を求める

脱炭素社会の推進を

脱炭素推進に、国の補助金がついた。甲斐市の実施計画は、市長公共施設の脱炭素化は、重要であり、計画策定を進めている。

計画策定を待つまでもなく、公共施設の大規模改修に際して、太陽光パネルの設置などできないか。

部長 検討している。

山梨県内の7市で一般家屋への太陽光パネル・蓄電池設置に補助金をだしている。甲斐市でも出せないか。

部長 振興策を調査検討する。

甲斐市の小規模農業維持策は、

市長 甲斐市親元就農経営安定支援事業補助金要綱を制定し、親元で新たに農業に従事する就農者に対し、市と県で100万円

の補助金を交付し、親元就農者への支援を行う。親元以外の方にも支給を広げてほしい。脱炭素に関連して、緑化センター跡地に建設する施設は、ゼロエミッションにすべきではないか。

けるZEB化やスマートLEDの導入ほか、施設の既存樹木を活用した二酸化炭素吸収量を確保するなど、取組の調査・研究を進めていく。

木質バイオマス発電は、火力発電で二酸化炭素を発生する、運搬時に発生するものを加えれば、ゼロにならない。山梨県の林地残材で、燃料材を賄えるのか。

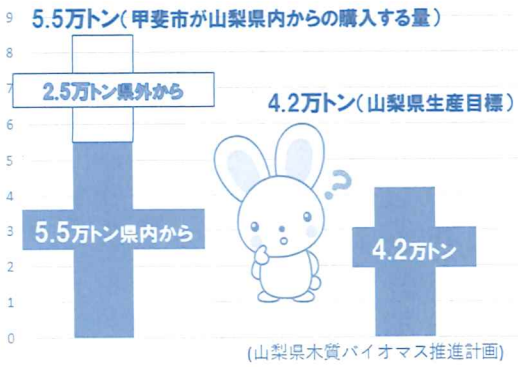
市長 県内から7割調達できる。山梨県の木質バイオマス推進計画では、2024年山梨県の燃料材生産目標量は4万2千トンだ、甲斐市発電所の使用料は8万トンだ、現実に県産材で7割賄えるのか。

部長 木材供給業者と覚書を交わしており、安定供給できる。

木質バイオマスのエネルギー効率は、熱利用で75%で発電では25%だ。熱利用はどうするのか

市長 周辺公共施設で利用するため、業者と検討している。

甲斐市で使う分が山梨県全体生産量より多い?



建設中の甲斐双葉発電所



篠原地区公園について

子育て支援複合施設について、子どもが自由に遊べる場所が欲しいとの意見が多いが部長 子育てについて、気軽に相談できる場がほしいとの意見もあるので、検討している。フラワーパーク&ミュージアムは、業者ヒアリングで市民の要望と違う結果になった。中央区画の樹木・希少植物、北区画のシンボルツリーは残るか。市長 趣旨から大きく違うことはない。複合施設の建設費を20億円と想定しているが、高額すぎるのではないか。市長 近隣類似施設の建設費を参考にした、概算である。

保険証廃止して、いいの

国がマイナカードの保険証利用をすすめているが、保険証番号は無くなるのか。副市長 保険証は世帯ごとに管理するためなくならない。

マイナ保険証は転居などで便利というが、紙の保険証は2年毎に、自動的に届くが、マイナ保険証は5年で更新が必要ではないか。

部長 保険証利用は電子証明書の有効期限内になる。今、対策を国の作業部会で検討している。

医療機関がマイナ保険証に対応する場合、負担が増えるのではないか。

市長 初期導入費用は国が直接補償し、機器は全額、その他の費用は上限額内で二分の一から四分の三補償される。

初期費用も全額でない上、維持費は医療機関の負担だ。物価高騰など、医療機関は大変だ補助は。

市長 本市では、オンライン資格確認の導入費用の補助は考えてない。

交付税増加分を医療福祉に

令和3年度は、地方交付税・地方消費税交付金で約10億円増

えた。医療福祉の充実に使うことを求める。重度心身障がい者医療費の窓口無料化はできないか

市長 窓口無料化は県と市が負担するが、実施しない自治体との公平性のため、自動償還払いとしている。県で「電子自動決済システム」の実証実験中だ。

電子決済システムは、利用者が少なく、ペナルティがなくなる保証もないのでは。部長 現在約50名参加だ。

高三までの医療費は窓口無料なのだから、障がい者も窓口無料化を求める。令和4年度から廃止された「通所施設食費負担軽減」「心身障がい者認定文書料助成費用」の復活はできないか。

市長 利用者の費用負担は軽減されているので廃止した。

消費税増税、物価高騰で障がい者の生活はさらに、困難になっている。甲斐市は市長報酬を月5万円、他の特別職報酬を1万円増額しようとしている。生活に困っている障がい者への手当てこそ、増額すべきだ。

議会報告への質問・意見は

市議会議員 松井 豊 電話 055-277-2437 携帯 080-2076-6109 市議会議員 谷口和男 電話 055-279-0291 携帯 080-4605-3322